

平成 17 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

刑 法 問 題 紙

A 日程

平成 17 年 1 月 16 日

15 : 00 ~ 16 : 30 (90 分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

問題 1 (配点 75 点)

Xは、路上で殺意をもってAに発砲したところ、弾丸はAを貫通してAに重傷を負わせ、さらに付近を通りかかったBにも命中してBを死亡させた。

Xの罪責について論じなさい。

問題 2 (配点 75 点)

弁護士資格を有しないX（北海太郎）は、実在する札幌弁護士会所属の弁護士Y（北海太郎）と同姓同名であることを奇貨として、同弁護士であるかのように装い、Xを弁護士と信じていた不動産業者Aから弁護士報酬を得ようとして、「弁護士 北海太郎」と記載し、Y弁護士の角印に似せてあり合わせの角印を押した、土地調査に関する鑑定料として10万円を請求する旨の「弁護士報酬金請求について」と題する書面を作成した。

Xの罪責について論じなさい。